

文学部歴史文化学科 教育課程編成・実施の方針

文学部歴史文化学科では、学位授与の方針で示した「学修成果」を実現するため、以下に示す教育課程を編成し、実施していくこととします。

文学部歴史文化学科のカリキュラムは、幅広い深い教養と総合的な判断力を培うとともに、論理的思考能力とコミュニケーション能力を磨く全学共通科目と、学部固有科目で構成されます。

<専門教育課程（学部固有科目）の構成>

1. 卒業所要単位は124単位であり、学部固有科目は以下の科目群に分けて編成します。

①学科「基礎科目」群を置き、学科専門教育への導入的科目として、以下の科目を配置しています。

①-1 歴史文化学科で学ぶ内容の理解及び学びと社会との接点への関心に導くための「入門科目」として「歴史文化学入門」「古文書読解入門」「現代と歴史文化」を配置。

①-2 学科の中心的学問分野である日本史学・日本民俗学の各時代概説・概論として「古代中世史概説」「近世史概説」「近現代史概説」「民俗学概論」及び隣接分野である宗教学・外国史・社会学の概説・概論として「宗教学概論」「東洋史概説」「西洋史概説」「社会学概論」を配置。

②学科「基幹科目」群を置き、教育研究の到達目標に向けての核心とし、以下の科目を配置しています。

②-1 各時代・分野の資史料を正確に読解する能力を養う資史料講読科目として「古代史料を読む」「中世史料を読む」「織豊期史料を読むⅠ・Ⅱ」「江戸時代史料を読むⅠ・Ⅱ」「近代史料を読むⅠ・Ⅱ」「宗教史料を読むⅠ・Ⅱ」「民俗資料を読むⅠ・Ⅱ」を配置。

②-2 専門研究を支えるべく、より細分された諸学問の基本知識を得るための科目として「日本思想史」「祭祀と信仰」「古文書学」及び資料調査の実践法を学ぶ諸科目として「調査と記録の方法Ⅰ・Ⅱ」を配置。

②-3 各時代、民俗学・宗教史上の特定のテーマについて先端的研究成果を学ぶ科目として「尾張三河戦国史論」「尾張三河と織豊政権」「近世史特論」「近代史特論」「郷土の民俗特論」「宗教文化特論」を配置。

②-4 演習科目として「卒業研究ゼミナールⅠ・Ⅱ」を配置し、Ⅰ・Ⅱ一貫した教員指導の下、Ⅰ

においては他者にもその意義が理解可能な研究課題を発見させ、Ⅱにおいてはその課題に即して歴史像を構築し他者に示せるよう導く。成果物として卒業研究（論文）を完成させる。

③学科「展開科目」群を置き、卒業研究の課題又は卒業後の進路に対応して必要となる科目を、学生自ら目的意識を持って選択履修してキャリア形成に資することができるようにし、以下の科目を配置しています。

- ③-1 各時代・分野にまたがるテーマを扱う諸科目
- ③-2 応用的テーマを扱う諸科目
- ③-3 コミュニケーション能力を修得させる諸科目

2. 本学科では、段階的に学びを達成できるよう次のようにカリキュラムを組み、必修としています。

1年次では、学科専門教育への無理のない導入として「入門科目」を含めた「基礎科目」16単位を履修し、2年次で「基幹科目」のうちの選択必修科目から12単位以上と演習科目である「踏査基礎演習Ⅰ・Ⅱ」4単位を履修し、今後の専門研究に向けて各種能力を培います。3・4年次では演習科目「卒業研究ゼミナールⅠ・Ⅱ」8単位を履修し、卒業研究（論文）を完成させます。

3. 本学科カリキュラムの中に、以下の特色を持つ科目を設置します。

①「現代と歴史文化」

歴史学修・研究活動、歴史遺産・歴史的由緒を生かしたまちづくり、観光創出等の実例を知ることによって、歴史文化にかかわるこんにちにおける活動の広がり・諸相を知り、問題のありかと今後の新たな展開の可能性を考察します。

②「調査と記録の方法Ⅱ」

紙以外のさまざまな伝来品歴史資料の各種存在を知り、それらの調査・記録の方法を学びます。授業では、学生が実際に石塔から拓本を採取します。これら歴史資料を調査・記録するにあたって必要な基本知識を修得します。

③「踏査基礎演習Ⅰ・Ⅱ」

特定の地域を対象とし、学生自身が踏査しつつ、当該地域の歴史文化に関する情報を集め、論理的思考に基づいてまとめ、ゼミ合同発表会において報告します。

4. 「学修成果」と科目との関係は以下のとおりです。

①歴史資料の特性や扱い方に関する知識を有し、資料を解読して情報を正しく接合させ、合理的推理に基づいて歴史像を構築することができる。

「古文書読解入門」「踏査基礎演習Ⅰ・Ⅱ」「卒業研究ゼミナールⅠ・Ⅱ」「古代史料を読む」「中世史料を読む」「織豊期史料を読むⅠ・Ⅱ」「江戸時代史料を読むⅠ・Ⅱ」「近代史料を読むⅠ・Ⅱ」「宗教史料を読むⅠ・Ⅱ」「民俗資料を読むⅠ・Ⅱ」「古文書学」「調査と記録の方法Ⅰ・Ⅱ」

②古代から近現代に至る日本の歴史文化の変遷について、正確に理解し、説明することができる。

「古代中世史概説」「近世史概説」「近現代史概説」「尾張三河戦国史論」「尾張三河と織豊政権」「近世史特論」「近代史特論」

③日本の伝統的な習俗や社会事象について、その起源や意義を理解し、説明することができる。

「民俗学概論」「祭祀と信仰」「郷土の民俗特論」「文化人類学」「民俗芸能論」

- ④地域の伝統的文化遺産や歴史的個性に深い敬意を持ち、的確な判断の下にその保存や活用に貢献できる。

「調査と記録の方法Ⅰ・Ⅱ」「尾張三河戦国史論」「尾張三河と織豊政権」「郷土の民俗特論」「戦国織豊城館論」「歴史資料と博物館」「博物館概論」「地域と歴史文化情報」「図書館概論」「図書館情報資源概論」

- ⑤日本語で表現する機会においては、他者と良好な関係を築き、協働して目的を達することができる。

「踏査基礎演習Ⅰ・Ⅱ」「卒業研究ゼミナールⅠ・Ⅱ」「コミュニケーション・スキルⅠ・Ⅱ」「仕事のコミュニケーション」

- ⑥卒業後も、次代への継承を意識しつつ、自ら種々のテーマを設定し、真理を探究するために自律的・創造的に研究・調査できる。

「卒業研究ゼミナールⅠ・Ⅱ」「仕事のコミュニケーション」